

子どもたちの「サテライト避難」についてのアンケート結果について

～今住んでいるところは安全ではない、
子どもは親から離れて避難できる！～

「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」（子ども福島）では、原発の放射能汚染と避難について関心のある方を対象としたアンケートを実施し、今月5日から11日までに143名の回答を得ました。

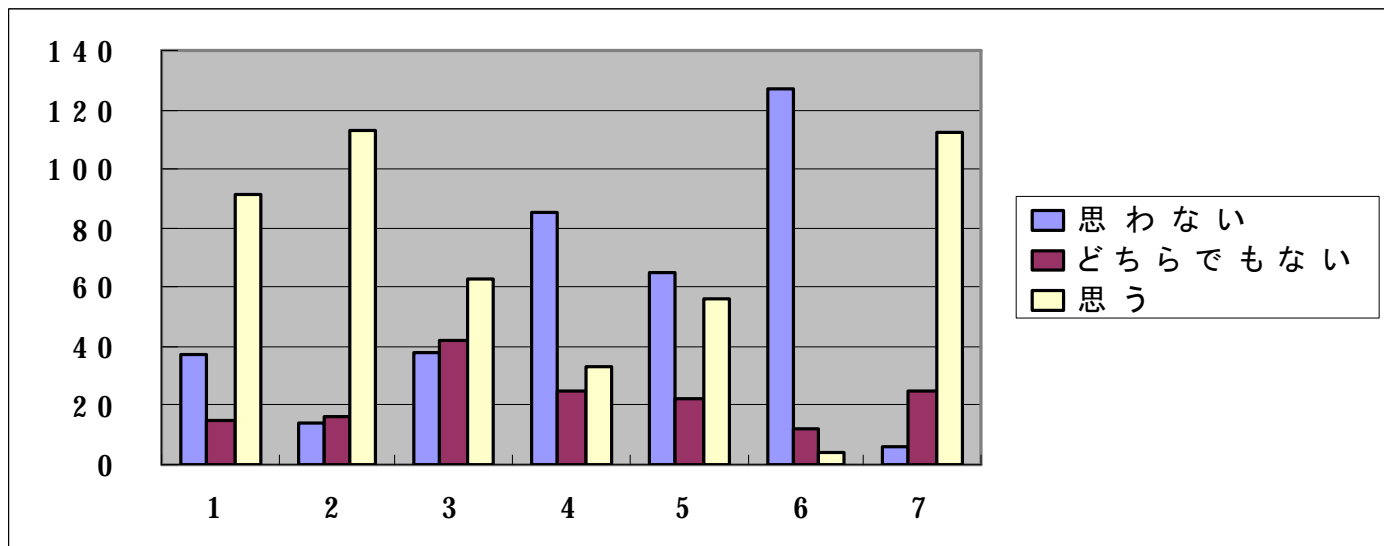
その結果、多くの方は今住んでいるところは安全ではないと思っているが、中高生が避難できない理由として個人的に避難するのは難しいと感じており、親から離れて避難できると思うので、サテライト避難に賛成しているということが明らかになりました。

未来を託す子ども達の健康を守るために、自治体単位のサテライト避難が求められています。

※サテライト避難とは・・・学校単位で放射能汚染のないところへ避難することをいいます。

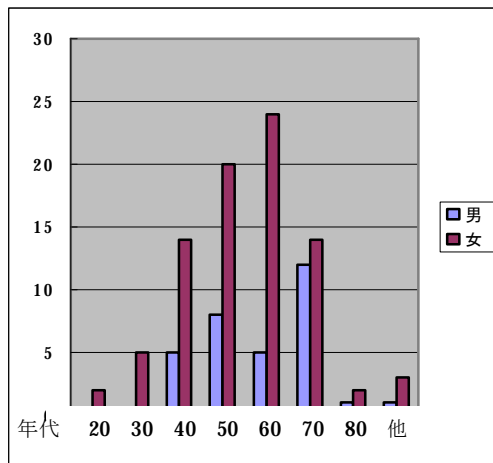
■アンケートの概要

- ・ 実施主体：子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク（子ども福島）
- ・ 実施期間：2011年8月5日～11日
- ・ 実施手法：紙での質問紙による形式
- ・ 回答数：143



1. 子ども同士の関わりが深い中高生は個人的に避難するのは難しい。
2. 中高生は学校単位（サテライト）であれば、親から離れて避難することができる。
3. 県外に避難することはできないが県内であればできる。
4. 今住んでいるところから離れて避難することはできない。
5. 避難するのであれば家族一緒でなければ避難できない。
6. 今住んでいるところが安全だと思っているので、避難する必要はない。
7. 子ども達を学校単位で避難させるサテライト避難に賛成だ。

【年齢構成】



■結果概要

◆アンケートは、避難に関心を持っている人を中心に、**143**名の回答を得た。回答者はすべて福島県内、主に福島市、郡山市、南相馬市、相馬市、いわき市に住む人達である。

◆子ども同士の関わりが深い中高生は個人的に避難するのは難しいと感じている人が**6**割いるということがアンケートからわかる。おそらく部活やコンクールなどが楽しい年代であること、また、自分ひとりで避難することが排除につながるのではという懸念があるからと思われる。

◆サテライト避難という学校単位の避難でなくても、友人同士数人のコミュニティがあれば子どもたちだけの避難が可能であると思われる。親から離れて避難できると思っている人とサテライト避難の賛成者の割合は**8**割と同じである。また、今回のアンケートは親の年代が多かったので、実際に子ども達がどう思っているのか調査が待たれる。

◆県内避難では意味がないという人と県外までは避難することができないという人がいるが、若干県内であれば避難できるという人の方が多い。しかし、本当に納得して県内避難を選んでいるかどうかは疑問である。

◆今回のアンケートは避難に興味を持っている人からとったので、今住んでいるところを離れて避難することができるという人が半分以上いたと思われる。

◆家族一緒に避難できれば理想的だが、経済的な事情などで一緒に避難したくてもできないという現実があり、家族一緒にでなければ避難できるかどうかというのは一番意見がわかれるところである。

◆今住んでいるところが安全ではないと**9**割の人が思っている。しかも大いに安全だと思っている人は**0**である。